

解決へ第三者あつ旋機閣

水俣病
補償問題

一月中設置に努力

斎藤厚相、互助会に確約

水俣病補償問題解決のための第三者あつせん機閣が一月中に場地につくられることになった。

占中の水俣病患者家庭互助会の山本赤田会長は水俣病患者十五人は二千日午後一時、厚生省に斎藤厚生大臣をたずね國による会補償額認定を陳情した。席山本会長は、政府の公會の公會内認定いらい前後四回にわたってチツソと面接交渉をしてきたが、いつも通脹しない。なんとか国で議論を示してほしと要望した。

これに対し同大臣は「基盤を設定してほしいといふ時は専本知事からも子ソからも聞いている。しかし厚生省としては医療保険などの援助は受けられるが、基盤をつくることは必ずしも。公病の原因は明らかにしたが、補償率まで決めるのはまだ前としてきれない。それで第三者のあつせん機閣をつくるべきだ。そのための費用を納得させることはできまい」と苦難認定はできないこと、それにつかわるあつせん機閣立てるする旨意見

せん機閣がダメなら、中央で設定作中の公算競争処理機閣ができるのを待つしかない。裁判に持ち込むのはいいことではない」と答えた。

山本会長は「大臣の中に入って関ができるまではとても待てない。あつせん機閣ができるなら、もうれば会員も納得すると思う。互助会としても支援団体などとの問題もあって、追いつめられた格好になっている。紛争処理機閣ができますと、何でもうよう努力したい」と約束した。なお一行は二千日に通脅、経企は、総理府にて同機閣の予定。

山本会長の話 国で基盤を決めてくれるまでわり込みでもしてがんばるつもりで陳情に来たが、第三者あつせん機閣をつくることを確認してくれたので陳情のかいがあった。水俣に帰ったとき、第三者あつせん機閣を開いて、互助会としての方針を決めたい。(東京支社)

田崎チソ水俣工場長の話 本社の意向がわからないので、何ども言えないが、厚生大臣がつくる機閣に入るか、と聞いてきた。そこで私は、あつせんのための第三者機閣は国でつくって、それに知事が入るのか、それとも場所で第

三者機閣をつくりてそれに厚相が入るのかと問い合わせたが、厚相の返事はあいまいだった。第三者機閣の性格についてあいまいな点がある上で、厚生大臣に付き添つて上京している県担当者の協力を得て、県の態度を検討したい。

田崎チソ水俣工場長の話 本社がこれに賛成ならば、おそらく本社も同意するのではないか。か。



斎藤厚生大臣(左、すわった人)に陳情書を手渡す山本会長(厚生省大臣室で)

山本会長の話 国で基盤を決めてくれるまでわり込みでもしてがんばるつもりで陳情に来たが、第三者あつせん機閣をつくることを確認してくれたので陳情のかいがあった。水俣に帰ったとき、第三者あつせん機閣を開いて、互助会としての方針を決めたい。(東京支社)

河端県副知事の話 きょう(二十九)斎藤厚相から県に電話があり、知事が不在だったため私が受けた。そのさい厚相は、補償の